

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

広島市信用組合（証券コード：－）

【変更】

長期発行体格付 A → A+
格付の見通し ポジティブ → 安定的

■格付事由

- 広島市に本店を置く資金量約8,300億円の地域信用組合。経営トップの強力なリーダーシップのもと、経営資源を預貸業務へ集中させスピーディーに融資可否の判断を行えることが強みとなっている。こういった当信組のビジネスモデルに対する評価や、収益力の高さなどを格付に反映している。コア業務純益は増益が続いており、与信費用は十分に吸収可能な範囲に収まるとみている。格付の制約要因となっていたコア資本比率については、堅調な業績、リスクアセット増加ペースの緩和などにより、持続的に改善していくとJCRはみている。以上を踏まえ、格付を1ノッチ引き上げ、見通しを安定的とした。
- コア業務純益は長期にわたって増益が続いており、23/3期も増益となった模様（22/3期実績110億円）。ROA（コア業務純益ベース）は1%超であり、与信費用を控除したベースでも高い水準にある。増益を牽引しているのは貸出金利息の増加である。新店開設、店舗リニューアルを契機とした営業活動の強化や、地元企業の資金需要の積極的な取り込みなどで、貸出金残高は持続的に増加している。貸出金利回りは、ミドルリスク先に対する融資やスピーディーな審査などを背景に、他の地域金融機関と比べ高い水準を確保できている。また、業容が大きく拡大するなかでも、預貸業務に特化することなどで経費の増加は抑制されており、高い収益性が維持されるとJCRはみている。
- 貸出資産の質は維持されている。バルクセールによる不良債権のオフバランス化を積極的に行っており、金融再生法開示債権比率は1%台後半（部分直接償却は未実施）と低い水準にある。また、自己査定を厳格化などを通じ引当の保守化を進めてきている。ミドルリスク先を主要な貸出先としており、今後も一定の与信費用の発生が見込まれる。ただし、徹底した小口分散や、保守的な引当などを勘案すれば、与信費用はコア業務純益で十分に吸収可能な範囲内に収まるとJCRはみている。また、有価証券の残高は少なく預証率は低位で維持されている。
- 貸倒引当金などを調整後のコア資本比率は22年9月末で9%台半ば。「A+」の地域金融機関と比べると改善の余地が残るものの、増資と内部留保の蓄積により22年3月末から上昇した。優良企業向けに貸出を大きく積み増した影響が一巡していることから、今後はリスクアセットの増加ペースが緩和する見込みである。堅調な業績と相まって、資本水準は改善していくとJCRはみている。
- 引き続き、業容が拡大していくことが見込まれる中、人員の増強、ガバナンス態勢の強化など、経営インフラの整備が一段と重要になるとJCRは考えている。

（担当）大石 剛・阿知波 聖人

■格付対象

発行体：広島市信用組合

【変更】

| 対象 | 格付 | 見通し |
|---------|----|-----|
| 長期発行体格付 | A+ | 安定的 |

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年5月16日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：大石 剛
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2021年10月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 広島市信用組合
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル